

## OPTIGA™ Trust M : 概要

以下の事にお困りではありませんか？

- IoT機器をクラウドや上位サーバーにどのようにセキュアに相互認証するか？
- 各種電子証明書をどのように安全にIoT機器に保管・管理するか？



InfineonのOPTIGA™ Trust Mを使う事で解決致します。

- お使いのクラウドサービスに応じた電子証明書を、予め書き込む事が出来ます。
- 耐タンパ性の有るTrust Mに電子証明書を書き込む事で、セキュアにその証明書を保管する事が出来ます。

### 証明書発行

### 運用Case例

証明書発行      証明書申請      証明書 書込み

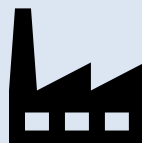
認証局

お客様

Infineon 工場



お客様工場



IoT機器に  
Trust M を実装

電子証明書  
による  
相互認証

AWS



TLS



IoT機器  
(Trust M搭載)

## OPTIGA™ Trust M : 特徴

### ➤ 開発環境は容易に入手可能

- ✓ GitHub上に各種ドキュメント、ホストCPU向け制御プログラムを用意  
<https://github.com/Infineon/optiga-trust-m>

### ➤ 認証局発行のクライアント証明書、クラウドサービス証明書、自己署名証明書などを、予めChip出荷時に書き込み可能

### ➤ AWS パートナーデバイスに認定済

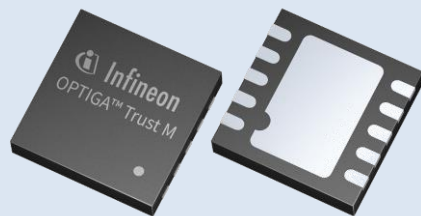
<https://devices.amazonaws.com/search?kw=INFINEON&page=1>

### ➤ 低消費電力モードを搭載

- ✓ Hibernate時 : 0uAを実現

### ■ 【用途例】パブリッククラウドと連携するIoT機器にご利用頂けます

スマートロック、スマートホーム(照明、エアコン、冷蔵庫、TV)、エレベーター、ネットワークカメラ、警報装置、FA機器、ロボット、デジタルサイネージ機器、ドローン など



動作保証温度範囲	-40℃～105℃	インターフェース	I2C
データストレージ	10kB	パッケージ	USON-10
暗号アルゴリズム	ECC, RSA, AES, SHA	パッケージサイズ	3mm×3mm